

■リコピンとは

トマト、スイカ、ピンクグレープフルーツを赤くするカロチノイドのことです。変性疾患に対して著しい戦闘力を持つ、強力な抗酸化物質としても知られています。

リコピンは13の二重結合を有し、他のどのカロチノイドより長い連鎖のユニークな分子構造を持っています。この構造形がリコピンにフリー・ラジカル、特に酸素フリー・ラジカルを中和する能力を与えているのです。最近「活性酸素」という言葉をよく耳にしますが、活性酸素とは、マイナスの電子を持った酸素の総称です。そして、その活性酸素の中でも、特に大きな害を与えるのがフリーラジカルなのです。そして、その活性酸素の中でも、特に大きな害を与えるのがフリーラジカルなのです。

最近の研究で、リコピンがヒト生体の有害酸化物質に対する自然防御機構の重要な役割を果たしていることが分かりました。

■ライコマート

リコピンおよびトコフェロール、ベータカロチンなどの天然化合物の非常に豊富なトマト・オレオレジンのことです。リコピンと他の植物性化学物質の自然な組み合わせは、フリー・ラジカルに対する生体の防御機構を増進します。ライコマートは、厳選された高リコピン含量の熟した品種改良トマトから抽出されます。ライコマートの製造には、特別穏やかな独自の工程が使われます。ライコマートは何の添加物も含まない純粋な自然製品です。

■身近なリコピン

リコピンは、多くの赤色食物、例えばトマトやトマトソース、トマトペースト、ケチャップなどのトマト製品に含まれています。またピンクグレープフルーツ、スイカやグアバにも含まれています。



■リコピンの役割

最近の研究で、トマトやトマト製品の豊富な食生活は、ある種の癌のリスク減少と強い関連性があり、実際に前立腺癌を予防する可能性のあることが分かりました。ミシガン州デトロイト、カルマノス癌研究所のオマール・クチューク教授は、被包性リコピンの前立腺癌患者に対する効果について評価を行ないました。この研究で、リコピン・サプリメントを服用した患者の腫瘍は小さく、前立腺内に留まる傾向にあることが分かりました。リコピン・トマトエキスを服用した患者の血清PSA

(前立腺特異抗原、前立腺癌の発見に使用される標準的なマーカー)が減少していることが分かりました。それに加えて自然リコピンをのんだ患者の腫瘍は退化しおよび悪性度低下の徴候を示しました。ハーバード大学医学部のエドワード・ジョバヌッチ氏と共同研究者は、6年におよぶ48,000人の男子医療従事者における研究で、トマト、トマトソース、ピザを週2回以上食べる人は、全く食べない人と比較し、前立腺癌のリスクが21~34%低い(食物の種類による)可能性のあることを発見しました。

■なぜ私達の食事に重要なのですか？

科学者は、過剰な酸化ストレスはアテローム性動脈硬化、癌、白内障、関節炎、その他の変性疾患の発症と進行に大きな役割を果たすと考えています。喫煙、大気汚染、放射線暴露などの環境危機に曝されると、酸化ストレスが人間の対応できる防御系能力の範囲を越えて増加します。私達をフリー・ラジカルから守る自然のメカニズムは、年と共に弱くなります。それゆえ、老人、喫煙者および環境危険に曝される人は、変性疾患にかかりやすいのです。ストレスが人間の対応できる防御系能力の範囲を越えて増加します。私達をフリーラジカルから守る自然のメカニズムは、年と共に弱くなります。それゆえ、老人、喫煙者および環境危険に曝される人は、変性疾患に罹患しやすいのです。

リコピンは、そのユニークな化学構造のため、フリー・ラジカル、特に酸素フリー・ラジカル(活性酸素)の生物学的抑制物質としてよく知られています。最近リコピンは、生体をフリー・ラジカルの障害から防御し、変性疾患の発症を防止する自然のメカニズムにおいて、大切な役割を果たすことが発見されました。

■どのようにして効くのですか？

リコピンは、フリー・ラジカル酸素分子が細胞に障害をおよぼす前に抑制、中和する電子を提供する抗酸化物質です。フリーラジカル酸素分子は、老化および様々な変性疾患の原因と考えられています。



Kantan Life & Shopping

(A Division Of スターシステムズ株式会社)

〒107-0062 東京都港区南青山7-10-3 南青山STビル6F

E-Mail : info@kantanbeauty.jp

ホームページ : <http://kantanbeauty.jp>

